学校番号	206

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	ペン習字教本（教育出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２ 学習の到達目標

中国や日本の優れた古典作品を鑑賞・臨書して、書の様々な美しさを感じ取る能力を養う。また、基礎的な表現技術を習得する。さらに、作品制作のための感性を養い、書を愛好する精神を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	**書の美** 書写から 書道へ 書の表現 書の分野 鑑賞と臨書	・芸術科書道の学習内容を示す ・書写と書道の違い・関係の理解 ・教科書の作品、展示作品の鑑賞 ・年間の作品制作の概要 ・書道の学習の理解	○ ○ ○ ○			○ ○ ○ ○	a:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:書は書く人の個性が現れることを理解し、書のよさや美しさを感じ取り、表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
5	**漢字の書1** **楷書による学習(1)** 楷書の美 臨書 「九成宮醴泉銘」 臨書 「孔子廟堂碑」	・楷書の持つ端正な美しさを味わう。 ・用筆・運筆・結構法 ・古典の様々な楷書を鑑賞 ・「九成宮醴泉銘」の書風について ・結構と用筆に注意して臨書。 ・「九成宮醴泉銘」との比較を通し、書風の違いを分析 ・結構と運筆に注意して臨書 ・虞世南の人格について	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:楷書表現の多様性、美しさの違いに関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:結構が書風を大きく左右することに気づき、特徴を捉えて書くように表現に工夫している。 c:字形や用筆の特徴を理解し的確に表現している。 d:作者の人格と書風の関係について理解し作品のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 臨書作品

5 6	**漢字の書1** **楷書による学習(2)** 臨書 「雁塔聖教序」 臨書 「建中告身帖」	・楷書のやや高度な表現技法の習得 ・初唐の典型とは異なる古典を臨書。比較を通して書風の違い、表現の多様性の認識 ・線質や字形の特徴を分析。用筆・運筆・結構法 ・鑑賞	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	 ○ ○	a:楷書表現の多様性、美しさの違いに関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:時代や風土、人物による書風の違いに気づき、特徴を捉えて書くように表現に工夫している。 c:字形や用筆の特徴を理解し的確に表現している。 d:作者の人格と書風の関係について理解し作品のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
6	**作品制作Ⅰ** 楷書による創作「うちわ」	・学園祭展示用うちわ創作。 ・字書の使い方、集字の仕方、草稿の作り方、清書 ・発展的な楷書体での漢字の書	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a: 楷書表現の多様性、美しさの違いに関心を持ち、主体的に表現活動に取り組もうとしている。 b:今まで学んだ表現を踏まえて発展的な表現となるよう構想を練っている。 c:習得した表現方法を応用し、主体的に取り組み、個性的な表現をしている。 d:他者の作品のよさや美しさを感じ取り、味わって鑑賞している。	観察 提出作品 鑑賞レポート
7 8 9	**漢字の書2** **行書による学習(1)** 行書の美 行書の特徴 臨書 「蘭亭序」 **漢字の書2** **行書による学習(2)** 臨書 「風信帖」	基礎的な表現技法・楷書と行書の用筆・運筆・結構法 ・王羲之の「書聖」所以を説明 ・点画の連続性を大切に臨書 ・字形のバランス分析と鑑賞 ・空海の書を鑑賞。 ・空海の人となり、時代背景について ・「蘭亭序」と比較し、印象の違いを確認 ・「風信帖」の用筆・運筆法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:行書体に興味を持ち、日本文化としての書や、書学習について関心を持ち主体的に表現や創作活動に取り組んでいる。 b:王羲之や空海の作品から書のよさや美しさを感じ取り、表現を工夫している。 c:線の太細、墨の濃淡、潤渇、全体校正への留意、および用筆や運筆法に身につけて、表現している。 d:作者のよさや美しさを感じ取り、積極的に鑑賞し、味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

	作品制作2 **楷書・行書による創作**	・大筆と用いて楷書・行書（全紙1／2） ・線の太細、墨の濃淡・潤渇について	○ ○	○	○	○ ○		
10 11 1	**仮名の書（1）** 仮名の基本的な筆使い 仮名の単体 **仮名の書（2）** 仮名の成立 仮名の美 変体仮名 連綿 臨書「蓬莱切」 臨書「高野切第三種」 **作品制作3** **仮名による創作**	・仮名の初歩的な技法を習得 ・いろは歌 ・仮名の発生と種類についての理解と読解 ・連綿の練習 ・平安時代の古筆の臨書 ・原寸大の臨書 ・いろは歌から集字。仮名を短冊に書く。 ・集字、草稿、清書の方法	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:日本人特有のかなへの美意識を持ち、自らの意図に基づいて工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d:かなの美しさやそのよさを理解し味わっている。	観察 提出作品 ポートフォリオ
1 2 3	**漢字仮名交じりの書（1）** 表現の工夫 **漢字仮名交じりの書（2）** 古典との調和 **作品制作4** **漢字仮名交じりの書**	・色紙作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿作成 半紙による作品制作後色紙への清書 ・鑑賞	○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:漢字と仮名が美しく調和した書に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:用具や用材の違いによる表現に工夫をしたり、文字の大小、運筆のリズムなど表現を工夫している。 c:今まで習得した基礎的な技法を生かして表現している。言葉選びや用材の使用について積極的に取り組んでいる。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。